

e-ビーフNEWS 北の牧場から

November 2024

十勝は晩秋

6時ごろになるとやっと明るくなります。寒さも一段と厳しくなり、朝は氷点下近くまで下がります。先日初氷、初雪が記録されました。例年より早そうです。沿道の草も白く丸まっています。霞をたなびかせてどっしりした蒼い日高山脈が、襟裳の裾まで連なって浮くように映えます。ハクチョウたちがクワークワと励ましながら群れで飛んでゆきます。農家の収穫作業も終盤に入り、ビート、長芋収穫が始まりました。

町営牧場から5月から放牧に出していた短角種や和牛も一段とフレーム大きく戻ってきました。チョットやんちゃ坊主かなと思いきや、おとなしくモクシ掛けさせて素直に家畜車へ。これからどこまで伸びるか楽しみです。



活動のお知らせ

- 10月31日(木) **第14回 北海道肉専用種枝肉共励会 全道・東北の肉専用種が20頭集結**
10:00～ 北海道畜産公社 十勝工場
- 10月31日(木) **最優秀賞(北海道知事賞) 宮北牧場(アンガス) 優秀賞 北里八雲牧場(短角)**
13:30～17:30 **赤身賞 えりも高橋牧場(短角)**
- 環境リサイクル肉牛協議会 第21回資源循環型肉牛生産シンポジウム2024**
帯広畜産大学(帯広市)講堂
基調講演「脱炭素社会における資源循環型肉牛生産の意義と役割2
～耕畜連携における堆肥生産を考える～」
参加者170名(帯農高70名) 意見交換会(ふじもり食堂)35名
現地交換会(音更北の牧場舎)15名参加



NEWSばか読み

- スマート農業法が施行 融資税制支援10/1:スマートに行けるか
- 糖価調整制度 23年度末累積赤字600億円 深刻
10/1:生産調整気配
- 英国 石炭火力発電所が運転終了140年に幕10/1:日本は3割依存
- コメ輸出 8月3割増 日本食好調10/3:お米置いておいて
- 牛肉骨粉 鶏豚飼料に解禁 23年ぶり6万t利用 10/3:徐々に開放
- 日本オーガニック会議 農水省と基本計画で意見交換会生物多様性目標10/4:現地を
- 農水省 酪肉近見直しで意見募集開始10/5:みんなで言おう
- JAL和牛お土産サービス 米国SP向け開始10/8:手土産進むか
- ランドシェアが全国普及拡大10/9:多様性
- EU機構 24年世界気温が過去最高 パリ協定より高く更新10/9:深刻
- ぐるなび今年トレンド鍋 新感覚すき焼き 食材に多様性
10/11:消費期待
- 日本被団協 ノーベル平和賞受賞10/12:すばらしい
- 農水省 配合飼料価格改定制度見直し 財源水準上げ維持へ10/16
- 和牛子牛価格7_9月 50万円割れ11年ぶり10/17:停滞感
- 観光庁 9月訪日客が最多更新 宿泊費が史上最高
10/17:上京しづらい
- 日本食肉消費総合センター 供給研修会で生産費の可視化を
10/17:
- 厚真町食鳥養鶏場で鳥インフルエンザ 最も早い発生10/18:ついに来た季節
- 農水省 農地所有適格法人への出資を食品業者・地銀等に緩和
10/21:
- 日本産錦鯉の中国輸出が1年ぶりに再開10/22:翻弄される
- 24年産コメ作付け東西高低 主食米に回帰傾向 飼料米26%減
10/24:
- 農水省 酪畜近見直しで肉牛増産抑制方針継続提起
10/24:抑制の他にもあるだろうに
- 国土交通省 農地付き空き家の下限面積撤廃10/25:移住者に期待
- 農水省 農地バンク 基盤整備事業に農家負担なしで土地改良法
改正へ10/26:
- 牛マルキン8月肉専用種で発動増 需要低迷続く
10/26:マルキン頼り
- 衆議院選挙 自公過半数届かず10/28:民意
- WHO 暑さ関連死23年高齢者が90年代に2.67倍10/31:

東京直近NEWS(10/29 Shi-REPORT)

ホルス

市況相場はもちあい状況。産地相対相場@1100前後変わらず。季節アイテムのカタロース、プリスケの問合せ増加。冷凍パーツ、ロース、ウデは低調も大きな余剰在庫無し。定期定量販売維持も、大きな追加問い合わせや切落とし含めた引合いは落ち着いており、消費の停滞感は否めない。気温低下から鍋商材の引合いに期待したい。集荷状況は出回り頭数減少傾向、産地の肌感では大きな変化少ない印象も、先々ホルス肥育農家戸数は減少の話題多い。

経産牛

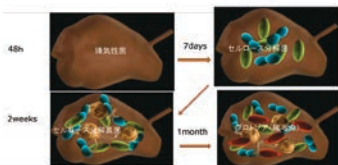
経産牛は出回り頭数減少傾向も道内集荷は比較的落ち着いている印象。酪農家の離農は継続していることから頭数維持されている可能性。次年度以降の頭数減少が大きいと予測ガリ枝肉中心に価格は強気維持。パーツ全体大きな引合いは落ち着いており、バラやプリスケは引合い強く切落としは引合い維持、モモ赤身がやや弱い。挽き材は絶対量不足している印象少ないが、徐々に在庫逼迫してきているため問合せ増加。要求単価と産地のコスト単価値差が広がってきている。慢性的な不足感が徐々に。

今月は、瀬野さんの「反芻動物の科学II」4回シリーズ④

⑬微生物の働きを解明する研究



⑭子牛のルーメン内の微生物の定着順位



⑮細菌叢が複雑化するほどルーメンは発達する

バクテリアの種類	第1群・第2群	第3群	バクテリアの長さ	ルーメンの層	
菌量%	39.5	36.5	9.9	0.9	1.1
種数	182	43.5	7.3	4.5	3.7

※同じルーメンを持つ100日齢体重15kgの子牛でのデータ (Forty, 1984)

⑯添加した微生物の改善効果の確認方法

- 飼料の効果を確認するためには、飼料効率 (Feed Efficiency: FE) を用い、FIはよい。
- 飼料効率 (FE) は乾物 DM あたりの生産物の生産される量である。
- 反芻動物でこの評価が使われなかった理由は、水分を多く含む飼料と少なく含む飼料があるからである。
- そうであれば、飼料を乾燥に換算すればよい。換算率より正確である。
- 乳牛では飼料 DM 24% で、乳量 36kg/日であれば 1.5 である。
- 肉牛では飼料 DM 10% で、増体 1.3kg/日であれば 0.13 である。
- 飼料効率を用いたために、飼料の評価が難しくなった。
- DM% の評価は FE の変化が大抵になる。

⑰食品残滓の飼料価値

- 食品工場から排出される食品残滓のうち大豆が、必ずしも、動物由来か・ビートパルプ・DM% などな製造工程でも利用されている。
- 人の食品は高級であり、畜産は家畜の利用に課税はないとされているが、各戸「食品廃棄法」と「飼料安全法」で、短々に利用方法が規定されている。
- 流通に乗った食品から生じる食品残滓は、国内で 700 万トンもあり、優良な飼料を生かしている例が少なくない。
- 例えば、ビール粕は酵母がでんぷん質 (非揮発性炭水化物) を消費した酵母白身を多く含む飼料。
- 例えば、豆腐の外皮の消化性繊維が、Fibrobacter succinogenes が活性化し、繊維分解能の活性を促進する。

⑱飼料微生物の安全性に関する法規制

- 畜産の健全な発展を促すために、「飼料安全性の確保及び品質の改善に関する法律」を守らなければならない。さらに、「飼料の安全性確保及び品質の改善に関する法律施行規則」が決められている。
- 畜産の飼料にはポジティブリスト制度によって「飼料及び飼料製造物の成分規格等に関する事項」が決められ、安全性が確保された飼料以外は使用できない。
- 「牛海綿状脳症 (BSE)」の予防のため、反芻動物由来蛋白質を含む飼料を牛に使用してはならない。同時に、製造・流通・保存でのコンタミネーションを防止する必要がある。
- 安全性に関する項目は、毒性・カビ毒・動物性蛋白質などは農水省消費安全技術センター (PMAC) が任意サンプリングし、分析結果を公表する。
- 「食品衛生基本法」に基づく人間の食品でも、「畜産の飼料」とはならない。
- 以上から、畜産物についても、ルーメンに効果があるとしても、上記の「畜産」に記載されなければ、添加は可能ではない。畜産用飼料で牛用飼料は最も規制が厳しい。

資源循環型肉牛生産シンポジウム 2023

転載・再利用は固くお断りします

話題提供2.産地の挑戦・国産飼料から地域飼料へ「耕畜連携で地域の畜産を守れ」
アンガス牛による自給飼料中心の牛肉生産 4回シリーズ②

北海道子実コーン組合 日本メイズ生産者協会 宮北牧場 宮北輝代表

■パルシステム東京主催
宮北牧場へ産地に行こうツアー2019



■パルシステムとの取り組み(配送職員研修)2015



■繁殖(放牧)



■繁殖(放牧地の管理)

天候と時期、草地面積により草をどの様にして、常に食べさせるかを考え、放牧を行っています。

過剰に食べさせると、草の再生が遅くなり、サイクルが狂ってしまう為、ひとつの草地に長く置いても、草地にとっても良くありませんし、また牛達も、ふん尿の臭いで草を食べなくなります。



■肥育(牛舎・給餌)



■肥育(飼料のミキシング)

ミキシングタンクを導入し、複数の飼料を混ぜ合わせて与えています。飼料の選り分けが難しくなり、増体もよくなりました。複数の飼料を分けて与えることがなくなったため、給餌の負担も減りました。



■自給飼料の生産(デントコーンサイレージ)

デントコーンは収穫後すぐに茎ごと粉砕し、バンカーサイロでサイレージ化します。

乳酸発酵させることで、保存性と嗜好性が上がります。



■自給飼料生産(グラスサイレージ)



■食品副産物(種類)

食品副産物はステージごとに与える量が異なります。牛に負担が少なく、品質・価格ともバランスがよく、できるだけ通年で使用できるものを選んでいきます。

